

新たな漁業を切り開き
未来をつくる

海の恵み



感謝の気持ちで
全戸配布 **ホタテ** 20枚
湧別漁業協同組合では、毎年春、町内全戸にホタテを20枚ずつ無料配布しています。
新鮮なホタテを町民に味わってもらおうとはじめたもので、毎年多くの人を楽しみにしており、とても喜ばれています。



つくり育てる漁業

湧別町では、サロマ湖でのホタテ・カキの養殖やホタテ稚貝の生産、湧別川を遡上するサケ・マスの孵化事業などによる栽培漁業を推進しています。
特に、外海ホタテは、オホーツク海沿岸に設定した漁場を4海区に分け、1年毎に海区をずらしながら稚貝を放流して3年後に採取する「輪採制」を導入することにより、計画的な水揚げを行っています。
また、サロマ湖養殖漁業協同組合が中心となり進めている、ホタテ・カキの養殖許容量の設定、流域地区での植樹、湖内・流入河川的环境モニタリング、湖内沿岸清掃などにより、自然の恵みを次の世代へ継承するための努力もしています。



オホーツク海とサロマ湖の美しい環境を守りながら 良質な水産資源をつくり育てる取り組み

漁業

湧別・登米床・芭露の3つの漁港を中心に、オホーツク海ではホタテ・サケ・マス・カレイ・ホッケ・毛ガニなど、サロマ湖ではホタテ・カキのほかエビ・ウニなどが水揚げされています。
特に、湧別産のホタテは、グリコーゲンを豊かに含む最高品質として知られ、鮮貝は東京・大阪などの大都市へ、玉冷・乾貝柱・ソフト貝柱などの加工品は東アジア・北米・EU諸国へ高級食材として輸出されています。
湧別町では、ホタテとサケを対象魚種とした衛生管理型（ハサブ対応）漁港として整備された湧別漁港のほか、サロマ湖漁港は、オホーツク海沖合操業船の緊急避難や湖内第1種漁港の利用漁船の前進基地として整備されており、世界初のアイスブーム工法によって流氷流入を阻止することにより養殖施設等の被害がなくなりました。



湧別漁港



テイネイ漁港



登米床漁港



芭露漁港



Fisheries

From Yubetsu the three main fishing ports are Yubetsu, Toetoko, and Barou. From here, scallops, salmon, trout, flounders, arabesque greenlings, hair crab, etc are caught in the Sea of Okhotsk. Shrimp, sea urchins, scallops, as well as oysters are caught in Lake Saroma. Fish farming is also being implemented in the areas around Yubetsu through the cultivation of scallops and oysters as well as the growing of young scallops in Lake Saroma. In addition, salmon and trout are hatched which travel upstream the Yubetsu River amongst other activities.



ゆべつ

サロマ湖アイスブーム